



うるま市長
しまぶく
島袋俊夫
としお

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた初春を迎えるにあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は、市民の皆さまのご理解とご協力により、円滑な市政運営を遂行することができましたことを心から感謝申し上げます。

本年も、市民福祉の向上と地域の活性化に職員一丸となって取り組む所存でありますので今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

昨年、東日本大震災と言う未曾有の大災害や福島第二原発からの放射能汚染など日本国内にとどまらず海外へも大きな衝撃と不安を与えた一年となりました。その反面、東北地方に対する国内外からの多くの支援は人々との「絆」として東北の復興へ希望と勇気が与えられました。

県内では、普天間飛行場移設が大きな課題を抱えたまま進展がみられず、基地のない平和な沖縄を願う県民の熱い思いは依然として政府には届かない状況にあります。うるま市では、先の震災により市民の防災

意識が高まる中、防災の拠点となる「うるま市消防本部庁舎」の完成により、災害時の即応体制の整備が図られるなど、市民の安心・安全な生活を守るうえで大きな期待が寄せられております。

さらに、自治会やNPO団体などを対象とした「地域活動支援助成事業」を実施するなど、市民協働のまちづくりに向けた取り組みも行ってまいります。

昨年は、5年毎に開催される「世界のウチナンチュ大会」も開催され、世界各地で活躍する本市出身の方々との交流を通して「ウルマンチュ」としての「絆」を再確認することもできました。

また、本年4月には、島しょ地域にあらたな教育の拠点となる「彩橋小中学校」が開校いたしますが、校歌や校章の作成、学校教育課程の時間割と併せたスクールバスの運行など、開校にむけての準備が着々と進められており、4島7小中学校の歴史を受け継ぎながら、複式学級の解消とともに、うるま市を担う子供たちが未来に向かって大きく羽ばたく

歴史の1ページを築いてくれることを大いに期待してやみません。

今日、国と地方の新たな関係を築く「地域主権改革推進一括法」の成立など、市町村にとつては責任や力量が試される新たな時代を迎えております。その様の中、本市としても新たな時代に備えんと共に、大きな課題である市民所得の向上と高失業率の解消に向けて、重点的な政策を展開する必要があります。

引き続き中城湾港新港地区への積極的な企業誘致をはじめ、1丁津梁パーク関連事業の展開による雇用の創出と人材育成、教育・福祉環境の充実、そして新たに設立された「うるま市観光物産協会」を中心とした特色ある観光づくりをめざし、本市の産業、物産等を広く紹介し、地域の魅力を活かしたまちづくりを推進してまいります。今後とも、市民皆さまの一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年が輝かしい素晴らしい年になりますよう、市民の皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げます。ごあいさついたします。

去年一年間を振り返る
市政および議会の主な事柄

- 1月**
 - 6日 うるま市消防出初式
 - 7日 うるま市新春交歓会開催
 - 9日 うるま市成人式(1,324名)
 - 28日 県道33号線(大田〜塩屋)開通
- 2月**
 - 5日、6日 第6回うるま市生涯学習フェスティバル開催
 - 10日 洋ランとさやいんげんの拠点産地に認定
 - 16日 叙勲・褒章受章記念式典開催
 - 17日 サウジアラムコの沖縄における石油基地事業開始記念式典
 - 20日 第19回2011おきなわ馬拉ソン開催
- 3月**
 - 5日、6日 第3回環金武湾ウォーキングフェスタ開催
 - 11日 東日本大震災が発生
 - 17日 東日本大震災で被災した岩手県久慈市に消防職員5名、車両1台を派遣
 - 18日 災害備蓄用毛布1千枚と災害備蓄用タオル1千枚を被災地に提供
 - 25日 うるま市観光物産協会発足
- 4月**
 - 3日 第11回あやはし海中ロードレース大会開催
 - 7日 沖縄アミークスインターナショナル開校
 - 7日 第35回沖縄選抜展開催
 - 18日 東日本大震災で被災した岩手県大船渡市に保健師2名を派遣